

# 神女広報

vol.20  
2015 Summer  
CROSSROADS

「自立心・対話力・創造性」活力あるコミュニケーションで結ぶ学園広報誌



須磨離宮公園  
「プリンセス・オブ・ウェールズ」



## 特集

ポートアイランドキャンパス

—建学の精神と学生の夢を実現する学び舎—

- 6 教育研究活動
- 12 トピックス
- 16 地域連携
- 17 大学連携
- 19 インフォメーション



学校法人行吉学園

神戸女子大学 神戸女子大学大学院 神戸女子短期大学 神戸女子大学教育センター

# ポートアイランドキャンパス

## —建学の精神と学生の夢を実現する学び舎—



平成4年4月に神戸女子短期大学が神戸市中央区中山手からポートアイランドの地に学舎を移転して20余年の歳月がながれました。その間に平成18年の神戸女子大学健康福祉学部の改組に伴う移転を経て、平成27年4月の看護学部開設に至り、現在、ポートアイランドキャンパスでは、神戸女子短期大学の3つの学科(総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科)、神戸女子大学健康福祉学部(社会福祉学科、健康スポーツ栄養学科)と看護学部(看護学科)に在籍する約1,400名の学生が日々勉学に励んでいます。「神戸医療産業都市」としても発展を続けるポートアイランドに位置し、進化するキャンパスの新しい施設・設備を紹介します。

### F館



看護学部の設置にともない建設された学舎です。看護学部の学生が最新の機器、設備を用いて実践的に学ぶことができる実習室を完備しています。ポートアイランドキャンパスのイメージを継承し従来の学舎と調和のとれた外観となっています。学内で長時間学習する学生のために、教育設備だけでなくリラックスできる空間も整備されています。

#### F館 情報

- 鉄筋コンクリート造5階建て
- 延床面積 約7,500㎡

## F館で学ぶ皆さんへ

神戸女子大学看護学部 学部長 野並 葉子

本年4月に、ポートアイランドキャンパスにF館が誕生しました。1階にはコモンスペース、自習室、3階にはアクティブグループの演習室を設け、学生がフォーマル、インフォーマルに学び合いができるように環境を整えています。また、F館は朝から夕方までぎっしりと授業が詰まっている看護学部学生がリラックスできるように、風が通り抜け、光が乱舞する癒し空間になっています。おしゃべり自由です。ちょっとヒトイキしませんか。



### ▶ F館1階



#### コモンスペース

学生に多くの出会いが生まれ、ゆったりとくつろぐことのできるスペースとして造られました。

入り口側は活発な議論や食事也能するコミュニティスペース、一段アップした奥のフロアは木目調の落ち着いたインテリアを配置し、リラックスして本が読めるスペースになっています。

吹き抜け、カーテンウォールによる広々とした明るい空間は学生に人気です。



談話する学生たち



明るい光が射し込むコモンスペース



パソコンが使える自習室

### ▶ F館2階

#### 実験室 / 多様なレイアウトが可能

シンクは固定していますが、実験台が可動式です。グループワークや講義形式など授業によってレイアウトが変更でき、多様な授業形態に対応できます。



#### 看護実習室(老年・地域・在宅) / 住宅再現コーナー

地域との関わりを重視した看護教育を行う上で、欠かせない実習室です。実際の家と同等なサイズの住宅を再現しました。看護の現場における多くの気づきや創意工夫の機会を与える実習室となっています。



▶ F館3階・4階・5階



大講義室

収容人数252名の講義室です。  
大人数の講義や講演に対応できるだけでなく、可動壁が利用できることで部屋を分割して少人数の講義や演習も行える構造になっています。

看護実習室(基礎)

看護師として、基本的な看護技術を身につけるための実習室です。  
医療施設、在宅の場で病にある人を援助するにあたり、生活に必要な基本的知識と援助の実践的な技術を学びます。看護師の立場だけでなく、療養者の立場で援助を受ける体験もします。



演習室

演習室の壁はガラススクリーンになっています。開放感あふれる館内は学習する様子が誰にでも分かり、学生同士の学習意欲を高めています。

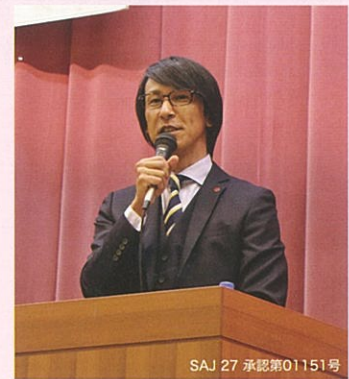
看護学部 開設記念イベント

5月10日(日)に看護学部開設記念イベントを開催しました。お世話になった関係者の皆様をお招きし、看護学部の学生、同じキャンパスで学ぶ学生、教職員が出席しました。

式典は中島 實学長の式辞、行吉 誠之理事長の挨拶に続き、学部長野並 葉子教授が、本学の伝統を受け継ぎ、看護学部の目指す教育について説明しました。最後に代表の学生が、看護師になる夢の実現に向かって努力を惜しまず、仲間とともに一期生の自覚をもち、学業や課外活動に励む決意を力強く宣言しました。

記念講演会では一般の参加者も含め約600名が、ソチオリンピックのメダリスト葛西紀明氏の「夢をあきらめない〜神風ジャンパーの挑戦〜」と題した講演に耳を傾けました。葛西氏は栄光の影にあった苦難や挫折、家族の温かい支えでそれらを乗り越えたこと、努力を重ねた日々や競技中の心境などを熱く語られました。

午後は記念祝賀会が行われ、ご招待の皆様とともに看護学部の門出を祝いました。



SAJ 27 承認第01151号  
記念講演会の葛西紀明氏



中島實学長の式辞



抱負発表をする看護学部学生代表 多田千紘さん



看護学部プロモーションビデオの放映

# ラーニング・コモンズ

平成26年度文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」の「教育の質的転換(教育研究施設)」に短期大学として唯一採択、ポートアイランドキャンパスにラーニング・コモンズが誕生!

神戸女子短期大学では、創設以来「有為な女性の育成」を目指し、学生と教職員の触れ合いを重視した教育を行っています。これを「ラポールの精神」として生かし、「教育の質の向上とキャリアの保障」の実現に向け、学生と教職員の双方向でアクティブな学びを展開するラーニング・コモンズを設置しました。

ラーニング・コモンズは図書館のライブラリー・コモンズと、隣接する情報処理実習室とで構成され、図書館蔵書コーナーまで切れ目なく行き来が可能。ICT環境の整備と相まって、アクティブな学びへと学生を誘います。

## ライブラリー・コモンズ

発信  
公開



### ■Presentation Stage (オープンルーム)

大型プロジェクターや音響設備、壁面ホワイトボードが完備され、公開授業、模擬授業、公開講座、ゼミ、クラブなど、さまざまな発表や練習に活用できます。

### 図書館のシンボル



行吉学園の学びのシンボルとしてオリジナルデザインで制作された「建学の精神」と「教育目標の標語」のプレートを利用者の動線の中心に掲げています。



教え合う  
学び合う



### ■Peer-Learning Village

自主学習やゼミの課題学習など1人でもグループでも、フレキシブルな活用が可能です。短焦点プロジェクターが設置された壁面ホワイトボードは、学習成果を発表する場合にもおおいに役立ちます。

知る  
調べる



### ■Media Satellite

OPAC専用パソコンによる蔵書検索のほか、Webでの情報検索、メディア機器を活用した語学学習や試験対策、CDやDVD視聴など教養から専門まで幅広い学習のためのスペースです。

出会う  
気づく



### ■Encounter Base

図書館スタッフカウンター(総合受付)があり、図書館内の書籍・器具の貸出返却や事前予約を行います。教員や友人との待ち合わせにも利用できます。

練る  
集う



### ■Learning Forum

グループ学習やゼミ、ディスカッション、プレゼンテーションの打合せや練習にも最適なスペースです。BOX席やモニター付きデスクなど、用途にあわせてさまざまな学習に便利なコーナーです。

## 情報処理実習室

ライブラリー・コモンズに隣接した情報処理実習室は、ICT教育の拠点として学生の能動的な学習をサポートします。

グループワークや学習成果の発表に適した実習室と、レポート作成などの自習に適した実習室が整備されています。



自習に適した実習室

グループワークや学習成果の発表に適した実習室(円形の机を配置)

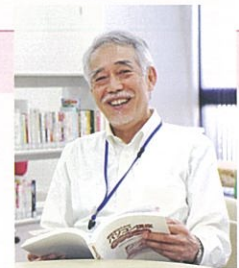
## ラーニング・コモンズに秘めた可能性

図書館長 水島 賢太郎

神戸女子短期大学幼児教育学科 教授

本年度よりポートアイランドキャンパスB館にラーニング・コモンズという空間が出来ました。コモンズ(Commons)には、私有地ではない共有・共用の土地といった意味があるように、ラーニング・コモンズとは「学びのための共有空間」なのです。私有地でない空間だから、思いがけない触れ合いや関係が生まれ、また、自律的ルールも生まれるでしょう。このような多様な人との学びの出会いこそが、個人の知識を知恵へと昇華させ、創造ある営みに導くと思います。

知の集積場所である図書館を中核に、新しい知の出会いの可能性を秘めた空間は生まれましたが、この芽を育てるのは他ならぬ利用者一人ひとりです。なぜなら、それこそがコモンズなのですから。



## 平成27年度 科学研究費助成事業採択状況

平成27年度の科学研究費助成事業について、本学園の採択件数は大学28件(継続19件、新規9件)、短期大学1件(継続1件)でした。科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までの「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」です。独創的・先駆的な研究であるかの審査を経て採択された研究に対して助成が行われます。

平成27年6月現在

研究種目	研究代表者	研究課題名
基盤研究(B)	看護学部・教授 野並 葉子	「糖尿病患者へのエンボディメントケア」の効果検証とその実用化への方略の検討
基盤研究(C)	文学部・教授 大橋 喜美子	幼保一体化に向けた保育カリキュラム・モデルの構築
基盤研究(C)	家政学部・教授 後藤 昌弘	ジャガイモの品種による物理化学的特性と食味におよぼす要因に関する研究
基盤研究(C)	文学部・教授 森 尚也	ベケット作品／草稿におけるテキストと図：ライブニッツ的組み合わせ術と存在論の研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 田中 紀子	季節変化および食生活・生活習慣に起因するエネルギー代謝変動の定量化
基盤研究(C)	家政学部・教授 狩野 百合子	エキストラバージンオリーブ油の食習慣に基づいた複合的栄養機能の解析
基盤研究(C)	文学部・教授 永淵 朋枝	全集未収資料集の作成による藤村研究の再構築
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 植戸 貴子	親による障害者殺害の予防策に関する実証的研究：知的障害者の親の子離れ支援
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 吉川 豊	糖尿病克服を目指した有機・無機ナノ複合体である高活性金属錯体の探索研究
基盤研究(C)	看護学部・教授 内 正子	慢性疾患をもつ幼児の身体感覚を支えるケアモデルの開発
基盤研究(C)	看護学部・教授 藤田 冬子	介護者のためのエンハンスメント・プログラムの評価
基盤研究(C)	文学部・准教授 久野 和子	「場としての図書館」の統合的研究：日本の新しい21世紀型図書館パラダイムの提唱
基盤研究(C)	文学部・教授 狩野 恭	8-10世紀インドにおける主宰神論争史研究
基盤研究(C)	文学部・教授 山内 晋次	火薬原料の国際流通からみた前近代の日本とユーラシア
基盤研究(C)	文学部・教授 松下 孝昭	日露戦後における軍隊の立地と遊廓をめぐる都市地域社会
基盤研究(C)	文学部・教授 今井 修平	播磨国小藩領における地域社会構造の歴史的研究
基盤研究(C)	看護学部・准教授 田村 康子	モロッコにおける助産師を対象とした産痛緩和ケア教育プログラムの効果に関する研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 置村 康彦	分岐鎖アミノ酸の筋萎縮抑制作用の基盤を形成する成長ホルモンの役割
基盤研究(C)	文学部・非常勤講師 李 春子	東アジアの「水」を巡る「伝統の森」の文化の資料化
基盤研究(C)	家政学部・教授 栗原 伸公	昆布摂取および昆布と酢同時摂取による高血圧予防メカニズム
基盤研究(C)	文学部・准教授 橋本(鈴木) 礼子	方言の推量表現に関する文法記述的研究
基盤研究(C)	文学部・准教授 吉村(森本) 真美	イギリス帝国と近代日本一帝國的諸事業・思想の越境的伝搬と展開
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 泉 妙子	介護の可視化 介護技能分析表の作成と暗黙知管理ツールの開発
基盤研究(C)	文学部・准教授 小原 依子	リハビリテーション病院における音楽療法の効果判定と技法開発のための実践的研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 山根 千弘	コットンギャップを埋める再生セルロースの構造設計と制御
基盤研究(C)	看護学部・教授 玉木 敦子	地域母子保健における周産期うつ病の予防的介入に関する研究
基盤研究(C)	幼児教育学科・准教授 畠山 由佳子	日本における児童虐待ケースに対する区分対応システムの開発的研究
挑戦的萌芽研究	文学部・准教授 野口 和美	米国の保健外交政策における民間財団の影響に関する研究
学術図書	文学部・教授 三保 忠夫	鷹書の研究

※ゴシック文字は今年度新規採択(9件)

## 科学研究費助成事業に採択された研究紹介

神戸女子短期大学幼児教育学科  
畠山 由佳子准教授

### 日本における児童虐待ケースに対する区分対応システムの開発的研究



日本で子どもに対する虐待が、社会的に問題視されたのは1990年代になってからのことです。それまでは報道でも「虐待」ではなく「せっかん」という言葉が使われていました。児童虐待相談対応件数を統計として取り始めたのも1990年からです。2000年に児童虐待防止法が制定され、児童虐待の法的定義を定め、すべての国民に対して通告義務を課しました。通告制度は整いましたが、親子分離以外には有効な手段はなく、強制介入の法的後ろ盾が当時は整ってはいませんでした。虐待死事件がマスコミで取り上げられる度に、その非難は児童相談所に向きました。そして世論は「虐待する親は許さない」という方向に傾き、制度はより強制介入的な対応へと変更されていきました。通告が入れば48時間以内で安全確認に向かうことが義務付けられ、今まで地域の脆弱な家族を支える存在であった市町村も児童虐待対応に追われるようになりました。

私は、学生時代から児童虐待ケースに対する家族支援に関心をもち、その実践を学ぶため、アメリカに留学し、現地では家族支援ワーカーとしての経験も得ることができました。日本より30年ほど先に虐待対応制度を作り上げたアメリカは、2000年頃から、強制介入的な対応だけでは、根本的な解決にならないことに気づきはじめました。多くの州でディファレンシャル レスポンスと呼ばれる、通告ケースを「家族に強制介入し安全確保を行う対応」と「家族に必要な支援を家族と共に考え提供していく対応」に振り分ける制度が導入され始めました。私の現在の学術研究助成基金助成金による研究は、このディファレンシャル レスポンスについて、アメリカでの実践をフィールド調査すると同時に日本での通告相談対応の現状を量的・質的調査により把握し、その援用の可能性を探ることを目的としています。

子どもを叩いたら虐待、子育ての手を抜いたらネグレクト、と親を責めたところで何の解決にもなりません。けれども、子どもの安全は確保されなくてはなりません。その見極めが難しいために、どうしても制度は強制介入的な方向に走ってしまいがちです。世間から見たら理想的な親でなくても、子どもにとってはたった1人の母親、父親なのです。可能な限り、家族をバラバラにすることなく、いろいろな事情の家族を支援することを目的とした新しいシステムを現場の仲間たちと共に提案したいと考え、研究を続けています。

## 神戸女子大学 平成27年3月卒業生の国家試験の結果について

第29回 管理栄養士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	156	150	96.2%
管理栄養士養成課程(新卒)	8,916	8,507	95.4%
全国合計	19,884	11,068	55.7%
第17回 精神保健福祉士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	10	9	90.0%
保健福祉系大学等(新卒)	1,901	1,364	71.8%
全国合計	7,183	4,402	61.3%
第27回 社会福祉士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	51	25	49.0%
福祉系大学等(新卒)	9,905	4,501	45.4%
全国合計	45,187	12,181	27.0%



# 古典芸能研究センターからの お知らせ



## 国際研究集会

### 「見つめる能面・能面を見つめる」

神戸女子大学古典芸能研究センターは、平成26年11月29日(土)・30日(日)にポートアイランドキャンパスで、国際研究集会「見つめる能面・能面を見つめる」を開催しました。

この国際研究集会は、平成25年度文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択された当センターの研究プロジェクト「日本古典芸能の横断的総合的研究拠点の形成」の一環として開催したもので、2日間で学内外延べ約160名の参加がありました。

初日は、「国際的に多様な視点から能・狂言面を考察する」と題し、研究プロジェクト代表 大谷 節子教授による基調講演をはじめ、国内外の第一線で活躍する研究者による、仮面と仮面劇についての講演が行われました。講演の前に、本学初の国際研究集会開催にふさわしく、茂山 七五三氏・宗彦氏らによる狂言「三番三 鈴の段」が上演されました。また、会場内には、初日限定で、京都の片山家能楽保存財団所蔵の能面二面を展示し、来場されていた人間国宝の能役者 片山 幽雪氏が、飛び入りでその面の解説をしてくださいました。残念ながら、この日登壇予定であったドイツのケルン大学 ピーター・マルクス教授は体調不良で来日ができず、本学国際交流推進部長の海老 久人教授



狂言「三番三」(茂山七五三氏)

が予め頂戴していた講演原稿の日本語訳を代読しました。

2日目は、「学際的に多様な視点から能・狂言面を分析する」と題し、宗教学者 山折 哲雄氏の講演とシンポジウム「能面を科学する」が行われました。シンポジウムでは、当センター客員研究員 天野 文雄氏(京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長)の司会のもと、人類学、民俗芸能、美術史、材料科学の各学問分野の専門家が、演者を交えて、仮面そして能・狂言面について研究報告を行い、更に討論者を交えて討議しました。



ピーター・マルクス教授の原稿を代読する海老久人教授



宗教学者 山折哲雄氏



シンポジウム



韓国の仮面(李応寿教授ご所蔵)



両日ともに、ロビーでは能面の写真や登壇者の著書などを展示し、少し長めに設定した休憩時にはコーヒー・紅茶とクッキーのサービスも行いました。それにより、この研究集会に集った参加者と登壇者が、さまざまな立場を越えて自由に研究交流できる場を提供することができました。

今回の国際研究集会は、日本の古典芸能の中でも「能・狂言面」を、同じく面を使った国内外の演劇や芸能と比較考察したり、演劇学や芸能史にとどまらないさまざまな学問分野からの視点や、あるいは演じ手側の視点から考察を深めたりすることのできた2日間でした。もともと能・狂言あるいは仮面に関心のあった参加者は、この研究集会を通して、一層深い理解と新たな発見を得ることができたようでした。



休憩中のコーヒーサービス



ロビー展示(能面の写真と登壇者の著書など)



国際研究集会の開催にあたりご高配を賜った能楽観世流シテ方 片山 幽雪氏は平成27年1月13日にご逝去なさいました。謹んでお悔やみを申し上げます。

面の解説を行う片山幽雪氏

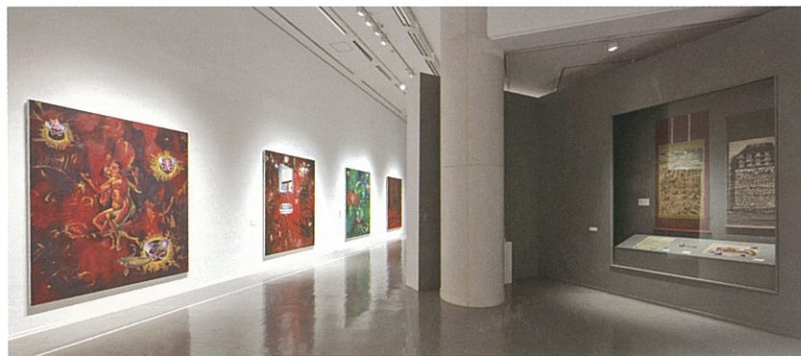
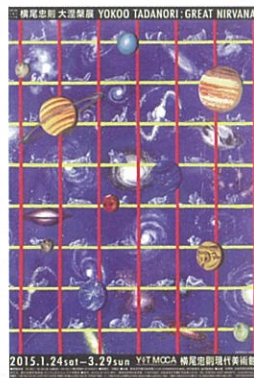
## 横尾忠則現代美術館「阪神・淡路大震災20年展 横尾忠則 大涅槃展」出品と古典芸能研究センター企画展「涅槃図の世界」

横尾忠則現代美術館(神戸市灘区)で1月24日(土)から3月29日(日)まで開催された「阪神・淡路大震災20年展 横尾忠則 大涅槃展」に、古典芸能研究センター所蔵の志水文庫より涅槃図8点を出品しました。

この展覧会では、兵庫県西脇市出身の美術家 横尾 忠則氏が収集された涅槃像のコレクションとそれに関連する作品、そして参考資料として近代絵画や近世のさまざまな涅槃図が展示されました。

また、古典芸能研究センター展示室でも、2月9日(月)から4月3日(金)まで、この展覧会と2月15日(日)の涅槃会(ねはんえ=釈迦の入滅した日)にあわせて志水文庫のコレクションから涅槃図を中心に他の涅槃図に関連する資料を配した企画展「涅槃図の世界」を開催しました。

今回の展示では、横尾忠則現代美術館と古典芸能研究センターが協力して宣伝活動を行ったことで、双方ともに来館者の増加と認知度の向上につながりました。



横尾忠則現代美術館「大涅槃展」(左:横尾忠則氏作品、右:志水文庫資料)



古典芸能研究センター展示室「涅槃図の世界」

## インドネシア ウダヤナ大学 留学生紹介

2014年9月から1年間、インドネシア共和国のウダヤナ大学文学部 日本語学科に在籍しているNi Gusti Putu Wahyu Dianti(ニ・グスティ・プトゥ・ワユ・ディアンティ)さんは、神戸女子大学文学部 日本語日本文学科で日本語、日本文学を学ぶために来日しています。

ディアンティさんの在籍しているウダヤナ大学は、観光地として有名なバリ島に位置します。日本からも多くの観光客が訪れており、ディアンティさんも日本人の友達ができ、日本語をさらに勉強したいと思い1年間の留学を決意しました。履修した科目は全て興味深く学習できました。特に古典芸能コースの特別講義で鑑賞した演舞に感激しました。

ディアンティさんは以前から日本文学への関心が高く、夏目漱石や芥川龍之介の作品もインドネシア語で読んでいたのですが、最近では村上春樹の小説に惹かれています。

そこで、留学の修了研究に、同学科の安原 順子教授の指導の下、『風の歌を聴け』の原文とインドネシア語版に翻訳された隠喩の表現を比較し、論文にまとめることにしました。

同学科の授業以外にも、家政学科の授業で浴衣の仕立てや帯の結び方、着付けも学習しました。課外活動ではデンマーク体操クラブに入り、充実した学生生活を送っています。

また、学生寮で出会った友人の実家で年末年始を過ごし、日本の伝統的なお正月も体験するなど、日本の文化に触れます。ますます日本が好きになりました。

ディアンティさんは、日々日本語を勉強し、毎日多くの友人と会話することを心がけ、来日時から飛躍的に日本語が上達しました。

将来は日本の関連企業に就職し、日本とインドネシアの友好の輪を広げたいと語っています。



ライブラリー・commonsでのディアンティさん



安原順子教授(中央)の卒業論文の授業を受けるディアンティさん(右)



自分で縫った浴衣を着て記念撮影

## イギリス ケント大学 留学生紹介

4月13日(月)から2週間、イギリスのケント大学から「イギリス・ケント大学生短期受け入れプログラム」の第一期生として Angelika Sala(アンジェリカ・サラ)さんが来日し、須磨キャンパスで日本語、日本文化を学び、学生たちと交流しました。14日(火)には、神戸女子大学の中島 實学長に挨拶を済ませ、早々に大学の授業に出席しました。

アンジェリカさんは日本語の授業に加えて、「和装文化演習」「古典芸能講読」「民俗文化史」の授業にも出席し知識を深めました。課外活動では華道部、弓道部の練習に参加しました。

今回のプログラムの母体となった英語英米文学科では、イギリス文学関係の授業に加えて、英語習得の授業で各教員のティーチング・アシスタント役をつとめ、学生の英語理解に貢献してもらいました。

神戸国際教養学科の専門科目の授業では、イギリスや母国ポーランドの社会問題や生活様式について説明し、本学の学生も日本の実情を英語で伝えて学び合いました。

短い期間でしたが日本語は上達し、本学の教員や学生と触れあい有意義な時間が過ごせたようです。



歓迎会で質問に答えるアンジェリカさん



日本語の授業の様子



弓道部員と記念撮影



1983年	ハワイ大学(米国)	2010年	ウダヤナ大学(インドネシア)
1993年	ケント大学(英国)	2010年	西安工程大学(中国)
1997年	フライブルク大学(独国)	2010年	カセサート大学(タイ)
2000年	華南師範大学(中国)	2010年	高麗大学(韓国)
2006年	ガジャマダ大学(インドネシア)	2011年	チェンマイ大学(タイ)
2006年	オークランド工科大学(ニュージーランド)	2011年	カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校(米国)
2006年	ピッツァー大学(米国)	2012年	アイルランガ大学(インドネシア)
2007年	チェンドラワシ大学(インドネシア)	2014年	静宜大学(台湾)

## タイ チェンマイ大学との教育・研究交流

5月21日(木)に国際交流協定を結んでいるタイのチェンマイ大学のNisit Panthamit(ニシット・パンザミット)准教授が、須磨キャンパスのライブラリー・コモズでASEAN経済の現状について特別講義を行いました。文学部の神戸国際教養学科の学生を中心に教職員を含む約40名が集まり、パンザミット准教授の講義に耳を傾けました。

神戸国際教養学科では、幅広い国際教養と世界に通用するコミュニケーション力を養うために、語学の学習、留学体験に加え、社会科学、国際協力関係の科目を開講し、国際的な視野をもつ学生を育てています。パンザミット准教授は同学科の小沢 康英准教授が取り組んでいる「ASEAN

経済統合に伴う日系企業への影響」というテーマの共同研究者でもあり、本学を訪問された機会に学生向けの特別講義が実現しました。

約6億人の人口をもつASEAN経済の発展動向の説明で、GDPがヨーロッパやアメリカに追いつくほどの規模になる可能性を秘めていることやASEANの経済協力の現状を当事国の学者から講義されたことは、学生にとって新鮮で一層アジア諸国への関心が高まることへつながりました。

特別講義の後は、チェンマイ大学に留学し3月に帰国した学生たちが、パンザミット准教授と当時を振り返るなど、英語とタイ語を交えてさまざまな話題に言及し親交を深めました。



講義中のパンザミット准教授



特別講義の聴講者と記念撮影



チェンマイ大学に留学した学生と小沢康英准教授と一緒に座談会

## 中国 華南師範大学 交流協定締結15周年

神戸女子大学は2000年に中国の華南師範大学と友好交流協定を締結し、以来、毎年2名の学生の交換留学を行っています。留学期間は1年または半年です。平成26年度は15回目の交換留学を行いました。

両校が協定締結15年目の節目を迎えたことを記念し、中島 實学長と国際交流推進部長の海老 久人教授が、3月10日に華南師範大学を表敬訪問しました。

交換留学の記念パーティでは、記念品の交換を行い、今後も友好な交流が続けられるように交換留学制度についての意見交換を行いました。

なお、当日、華南師範大学からは、副学長 Prof. Wu Jian(吴坚教授)、国際交流合作處處長 Prof. Dai Shu(戴黍教授)、外国語文化学院日露学科主任 Prof. Li Yannan(李雁南教授)、国際交流合作処事務 Elaine Shen Liling(沈丽玲)の方々が出席しました。

表敬訪問後には、当地で、交換留学生として神戸女子大学で1年間を過ごした華南師範大学の卒業生が8名、現在留学中の神戸女子大学の学生2名も出席し、同窓会を開催しました。席上、中島学長、海老教授と当時を振り返り会話が弾みました。



華南師範大学:神戸女子大学を歓迎する電光掲示板の前に立つ中島實学長(左)と海老久人教授



記念パーティで華南師範大学の副学長Prof. Wu Jian(吴坚教授)から記念品を手渡される中島学長



贈呈された記念品

## 神戸女子短期大学の学生が日本ビジネス実務学会近畿ブロックの 学生プレゼンテーション大会で優秀賞を受賞

2月22日(日)日本ビジネス実務学会(注)近畿ブロック研究会の学生プレゼンテーション大会において、神戸女子短期大学総合生活学科1年生(当時)の橋口 志穂さんが優秀賞を受賞しました。この大会は、社会人として必要な「プレゼンテーション能力」の育成を奨励するという主旨で開催されています。

テーマは「学生生活の中で主体的に取り組んだこと」で橋口さんは「夢を追い続けるために」という題名で5分間のプレゼンテーションを行い、ブライダルプランナーとして活躍する夢を発表しました。

橋口さんは、ブライダルプランナーになることを目標に総合生活学科に入学しました。ブライダルプランナーには、聞き手に効果的に伝わる説明能力が必要と考え、福井 愛美教授の「プレゼンテーション演習」を履修しプレゼンテーション力を磨きました。

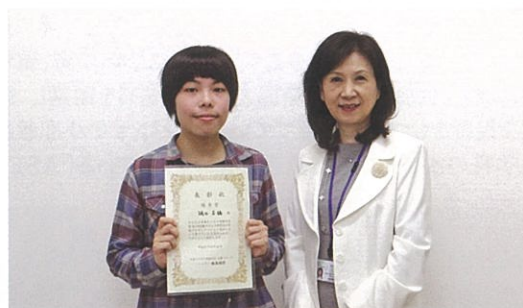
授業は学生が聞き手ですが、大会は大学の教員が聴衆です。緊張した雰囲気にもまれることなくプレゼンテーションが行えたことは、目指す職業への自信になり、普段の生活にも役立っています。

現在は専門科目を学ぶ機会が増え、ブライダルプランナーになるために勉強することが楽しく、充実した学生生活を送っています。

(注)日本ビジネス実務学会は、ビジネス実務に関する理論的、実践的研究を行い、ビジネス実務能力育成のための教育に関する研究を行っている。昭和56年に「日本秘書学会」として設立され、時代の要請にこたえるため平成8年に「日本ビジネス実務学会」と学会名称を変更。



学生プレゼンテーション大会で発表する橋口志穂さん(左)



表彰状をもつ橋口志穂さんと「プレゼンテーション演習」担当の福井愛美教授

## 社会福祉学科の教員が高校生に福祉の魅力を語る



講演中の松崎喜良教授

神戸女子大学健康福祉学部 社会福祉学科では、平成26年度の兵庫県の「進路選択学生等支援事業」の助成を受け、教員が高等学校を訪問し、高校生に進路の選択肢のひとつとして福祉・介護の仕事やその魅力を紹介し、情報を提供しました。

3月6日(金)に同学科主任の松崎 喜良教授は、兵庫県立尼崎稲園高等学校を訪問し、1、2年生560名の生徒に「子どもの権利について」という演題で講演しました。

松崎教授は、誰もが幸福な暮らしができる福祉社会を実現するためには一人ひとりがお互いの権利を守ることが必要で、今日起こっているいじめや虐待などの青少年問題の背景には貧困があり、子どもの学ぶ権利が侵害されている要因になっていると解説しました。

また、お互いの個性を尊重し、支えあうことが幸せな生活につながり、お互いを認めあう社会を作るために勉強していると自覚すれば、勉強は楽しくなると述べました。

講演終了後は質問が相次ぎ、高校生として福祉にどのように関わるか考えていただく機会にもなりました。

松崎教授の講演に先立ち、1月15日(木)に神戸山手女子高等学校においても、同学科の2名の教員が次の演題で社会福祉・介護教育についての講演を行いました。

「介護って何?体験から見えてくるもの」木村 あい准教授

「『こうのとりのゆりかご』から考える子どもの福祉」曾田 里美准教授



高校生向けに作成したパンフレット

## 第7回葉酸たまご甲子園 優勝!



たまご甲子園:審査担当の学生と一緒に記念撮影  
(左から)金子明日香さん、村瀬まみさん、今井尻萌さん、安嶋夏希さん

3月15日(日)大阪市の大阪ガス ハグミュージアムで行われた「第7回葉酸たまご甲子園」において、神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程の後藤 昌弘教授のゼミ生チーム「G-girls」(当時3年生)が優勝しました。

「葉酸たまご甲子園」は、一般社団法人「葉酸と母子の健康を考える会」と「JICA国際日本料理協会」の共催で、大学などで栄養学を学ぶ学生が献立・調理法を工夫し、葉酸たまごを使った料理を競うコンテストです。1チーム3人で制限時間内に1日の葉酸摂取量480 $\mu$ g(マイクログラム)以上摂取できる料理を作ります。葉酸含有量、アイデア、インパクト、料理の作りやすさ、味などで総合審査されます。今回は8チームが参加しました。

後藤ゼミの学生は、着想から3週間という短い期間にアイデアを出し合い、試行錯誤を重ねてメニューを考案しました。若い女性に喜ばれるおしゃれなカフェごはんをイメージし、最近人気のエッグベネディクトをアレンジし、見た目は洋風で味は和風に仕上げました。



### 和(なごみ)カフェごはん

和風エッグベネディクト  
酒粕と豆乳のスープ  
豆腐のヘルシーカプレーゼ  
えだまめプリン

イングリッシュマフィンの代わりに、大葉と炒りゴマ入りの丸く焼いたご飯を使いました。アボカドとサーモン、水菜に鶏レバーと鶏の挽肉ハンバーグの2種類をつくり、葉酸たまごのポーチドエッグをのせて、食材に合ったソースをかけ和風エッグベネディクトの出来上がりです。アボカドと鶏レバーは葉酸を特に多く含み、他の料理にも葉酸が多い枝豆、オクラ、酒粕を使用しました。

全ての料理が見た目と味わいにギャップがある面白さと、葉酸を効果的に摂取できるポーチドエッグを使ったアイデアが、審査員の先生方に高く評価されました。

今回は初めてプロの部も開催され、一流のホテルや料亭が参加しました。出場各校から1名ずつ学生が審査員として加わり、目の前でプロの妙技を見ることができ大変勉強になりました。

学生たちは、葉酸について深く勉強し、協力してメニューを考え料理を作りあげた経験を今後のゼミ活動や卒論作成につなげていこうと意気込んでいます。

### 葉酸とは

ビタミンB群に属する水溶性ビタミン。血をつくる働きに関係し、不足すると貧血になることもある。元気な赤ちゃんを産むために大切な栄養素であり、また妊娠を望んでいる女性や妊娠中の女性は、妊娠前から妊娠初期にかけて1日の葉酸摂取量=480 $\mu$ g(マイクログラム)以上摂取することで胎児の神経管閉鎖障害の発症リスクを低下させるとされている。体内に蓄えることが難しく、毎日摂取することが大切。緑黄色野菜、果物、レバーなどに多く含まれている。



たまご甲子園:調理に奮闘中の学生



研究室:後藤昌弘教授の指導の下、チームワークよく研究する学生たち

## 阪神・淡路大震災から20年 追悼行事

阪神・淡路大震災から20年の節目を迎え、2名の学生が犠牲となった神戸女子大学須磨キャンパスでは「阪神・淡路大震災 1・17 追悼週間」を設け、追悼行事を行いました。

追悼行事は、学生、教職員全員の黙とうから始まり、講演会、学生が主体となって取り組んだキャンドルナイト、AEDの研修と続きました。

阪神・淡路大震災と東日本大震災なども併せた多くの犠牲者への追悼とご冥福をお祈りするとともに、神戸の地で学ぶ学生たちに生命の尊さを伝え、防災意識の向上を図り、健康で安全に生きることの大切さを再確認する機会となりました。



キャンドルナイトで飾られたろうそく



NPO法人ニューいぶき 坂本津留代理事長の講演の様子



AEDの使用説明をする学生消防団員



キャンドルナイト(家政学科)  
1.17 20thの灯りの前で参加者が黙とう

## 追悼週間行事

◆期間 平成27年1月8日(木)～14日(水)

◆行事内容

**1月8日(木)**

- ・黙とう
- ・講演会

演題:「震災から学ぶ ともに支え合う地域づくり『ありがとう』を伝えたい」

講演者: 坂本 津留代氏 NPO法人ニューいぶき理事長  
神戸市西区井吹台自治会連合会長

**1月13日(火)**

- ・キャンドルナイト  
「煌めきの進歩 過去から未来へ  
～学内から希望の灯りになればとの思いを込めて～」  
企画: 神戸女子大学学友会
- ・AED体験(研修)

**1月14日(水)**

- ・キャンドルナイト  
「ハタチ ～震災とともに歩んできた私たち～」  
企画: 家政学部家政学科 大森 正子准教授  
家政学科2年生・生活デザイン演習履修学生

※当時の被災状況写真パネル、須磨キャンパス震災対応日記、防災備蓄品類の展示期間は1月30日(金)まで



黙とうする学生



キャンドルナイトの様子(学友会)



キャンドルの灯りがとる噴水(家政学科)

## 家政学科 須磨ニュータウン魅力紹介リーフレットを須磨区役所と共同で作成

神戸女子大学家政学部 家政学科住空間コースの3年生(当時)の学生が中心となり、須磨ニュータウンを紹介するリーフレットを神戸市須磨区役所と共同で作成しました。

「都市デザイン演習」(担当: 梶木 典子教授)の授業では、都市の課題に向き合い、問題解決の方策を考える実践的な取り組みを積み重ねています。

平成26年度の授業では、同区役所の依頼をうけ、人口減少に悩む須磨区の課題の解決策のひとつとして、若い世代を対象に広く須磨ニュータウンの魅力を紹介するリーフレットを作成しました。

受講生34名は6グループに分かれ、各グループ内の各人が担当する団地を決め、まちあるきをしながらその魅力や特色を

調査しました。持ち帰った結果をまとめ、各グループで試行錯誤のうえ、装丁、PRポイント、写真、イラストを工夫し個性あふれるリーフレットを作りあげました。

同区役所が発行したリーフレットは、各グループの完成作品からアイデアを抽出し総合的にまとめられたものになっています。

完成までの過程では、授業のたびに研究・調査の成果を発表し、お互いのグループの作品を見て批評しあいました。学生たちは、他のグループの意見を取り入れることがよい結果につながることを認識し、提案力と企画力が身についたと語っています。将来はデベロッパーに就職することを目指す学生もでてきました。



学生が作ったオリジナルのリーフレット



須磨区役所発行のリーフレットを見て自分たちのアイデアが生かされたことを確認



リーフレット作成に中心的な役割を担った梶木研究室の学生と梶木典子教授(前列右)、瓜生朋恵助手(前列左)

## 管理栄養士養成課程の学生

### 平成26年度専門フードスペシャリスト資格認定試験 成績優秀で表彰される

平成26年12月14日(日)に実施された公益社団法人日本フードスペシャリスト協会の「専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格認定試験」(注)において、神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程3年生(当時)の鷲 亜由香さんが成績優秀者数名に贈られる優秀賞を受賞しました。

将来、管理栄養士として仕事をするとときは、専門分野以外にも食に関係する幅広い知識と技術があれば、さまざまな場面でより実践的に活躍できると鷲さんは考え、フードスペシャリストの資格を取得することにしました。

鷲さんは、健康な生活を送る上でのバランスが取れた食事の重要性を啓発し、病気を予防する献立の考案や食物アレル

ギー対策もできる管理栄養士になりたいと思っています。この資格認定試験の学習は、管理栄養士国家試験の勉強にも役立ち、食品の流通、食市場の変化、食事の文化、食卓のコーディネート、サービスとマナーなどの知識も身につきました。鷲さんは来春の管理栄養士国家試験の合格を目指し、日々の勉学に励んでいます。

(注)資格取得には、同協会の正会員の大学・短期大学で「フードスペシャリスト養成機関」として認定された特定の学科で所定の科目を履修し、試験に合格すれば卒業時に資格認定証が交付される。従来のフードスペシャリストから、より高い専門的な知識と技能を備えていると認定するために、平成26年度から専門フードスペシャリスト(食品開発)資格と専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格の認定試験が行われている。



中島實学長から表彰状を手渡される鷲亜由香さん



学習中の鷲亜由香さん



## 神戸女子大学BBS部 第34回こうべユース賞受賞

2月28日(土)神戸市須磨区の須磨パティオにおいて、第34回神戸ユース賞(注1)の表彰式が行われ、昨年に引き続き今回は神戸女子大学のBBS部が社会部門で表彰されました。

BBS(注2)とは、少年少女の更生保護事業を行う青年ボランティア団体です。BBS部は兵庫県BBS連盟の一団体として、少年少女と心の交流を行い、彼らが健やかに成長していくのを手伝うボランティアを行っています。

独自の活動も企画し、平成26年度は、保護観察下の少年少女も一緒に参加できるバドミントン大会や六甲山牧場でのレクリエーションを企画実行しました。また、毎年法務省が主唱する「社会を明るくする運動」の一環として、地域の保護司会、更生保護女性会、須磨警察署と協力し、街頭での犯罪非行防止活動も行っています。

部員たちは、ボランティア活動をととして学外の世代を越えた人々とも交流する機会があり、社会人としてのマナーやルールも身につきました。今後も犯罪や非行のない社会の実現に向けて、学業と並行して積極的に活動する決意をしています。



記念の楯を持つBBS部員

(注1)こうべユース賞とは、社会・文化・スポーツの各分野で活躍し、業績顕著及び奨励に値する活動を行った青少年を表彰するもの。

(注2)BBSとはBig Brothers and Sisters Movementの略称。更生保護の諸活動にボランティアとして参加する人々や団体と力を合わせて、法務省の行う更生保護事業に協力する。さまざまな問題を抱える少年少女と、兄や姉のような身近な存在として接しながら、少年少女が自分自身で問題を解決したり、健全に成長していくのを支援するとともに、犯罪や非行のない地域社会の実現を目指す青年ボランティア団体。

## ローターアクトクラブ ども病院での活動

3月9日(月)神戸女子大学ローターアクトクラブの学生9名と滝川高等学校インターアクトクラブの生徒2名が兵庫県立ども病院を訪れ、寸劇とバルーンアートのプレゼントで子どもたちを励ました。

この催しは、ローターアクトクラブのスポンサーである神戸須磨ロータリークラブが、2014-2015年度地区補助金による奉仕プロジェクト補助金での支援の下に企画実行したものです。

学生たちは、バルーンアートの作り方を習って、動物、花、おもちゃのプレゼントをたくさん作りました。劇は、学生が“アクトレンジャー”と名付けたヒーローに扮し、滝川高校の生徒が演ずる“バイ菌マン”を子どもたちの応援でやっつけるといったダンスも入ったオリジナルのストーリーです。

滝川高校の生徒と協力して、子どもたちに分かりやすい劇になるように身振り手振りを工夫して当日を迎えました。

会場は、子どもたち、保護者や看護師の方々で満員となりました。皆さんは、劇が始まると真剣になって見入り、“バイ菌マン”に“アクトレンジャー”が負けそうになると熱い声援があちらこちらからあがりました。子どもたちの応援で“バイ菌マン”を退け、お礼に学生たちからバルーンアートをプレゼントして劇は終わりました。

色とりどりのバルーンアートは予想以上に人気があり、劇の終了後にもリクエストに応えその場で作って手渡しました。

学生たちは、励ますつもりで病院を訪れたのですが、子どもたちの笑顔に逆に励まされ、今後ともローターアクトクラブの国際交流や地域貢献活動に一層励む決意を新たにしました。



最終の打ち合わせをする学生



“アクトレンジャー”が子どもたちの応援で“バイ菌マン”を追いつめました



神戸須磨ロータリークラブの皆様も一緒に記念撮影



## 第10回 英語演劇鑑賞の夕べ ウィリアム・シェイクスピア作「ヴェニス商人」公演



5月19日(火)神戸女子大学須磨キャンパス体育文化ホールにおいて、インターナショナルシアターカンパニー・ロンドン(International Theatre Company London 以下ITCL)によるウィリアム・シェイクスピア作「ヴェニス商人」が上演されました。

ITCLの公演は、地域連携活動の一環として毎年開催し、今回は10回目となる記念の公演です。シェイクスピアの代表的な喜劇を約650名の観客が鑑賞しました。

ヴェニス商人アントニオは、高利貸シヤロックからの借金を返済できなくなり、窮地に追い込まれますが、男装して裁判官となった親友の妻ポーシャの機転に救われるというストーリーです。少人数の出演者が複数の役を演じ、卓越した演技に、歌と踊りもまじえた舞台は、終始観客を魅了しました。

公演に当たっては、文学部英語英米文学科の学生が中心になり、受付、会場案内、アナウンス、インターバルでの飲み物・スナック販売などの運営をしています。

上演前には、英語英米文学科を代表し4年生の藤田 美紅さんが日本語と英語で挨拶を行いました。お客様には外国人の方も多く、オープニングを飾るものでもあり緊張を伴いましたが、発音、イントネーションの練習を数週間前から毎日行い、見事に大役を果たしました。

この行事に参加した学生はITCLの俳優やスタッフの方と交流する機会もあり、生きた英語を学ぶこともできました。シェイクスピアの作品への興味や理解が深まり、幅広い教養を身につける一助ともなっています。



上演前に学生がキャンパスを案内



受付の様子



オープニングの挨拶をする藤田美紅さん

## 「未来医XPO'15」に展示参加

3月29日(日)「第29回日本医学会総会2015関西 一般公開展示『未来医XPO'15』ポートアイランドサイエンスツアー アカデミーツアー」にポーアイ4大学の連携行事の一環として、ポートアイランドキャンパスの神戸女子大学健康福祉学部と看護学部、神戸女子短期大学が展示参加しました。ポートアイランド内の4大学が連携し、教育機関独自の視点で健康・医療に関する展示を行いました。



## ポーアイ4大学連携事業「第5回 慢性腎臓病 市民公開講座」

ポーアイ4大学(注1)による連携事業の一環として、成人の8人に1人が患者といわれる新たな国民病、慢性腎臓病(CKD)の治療と食事療法についての講演会、調理実習を神戸女子短期大学・4大学連携推進センターの主催で開催しました。講演会は116名、調理実習には30名の市民の皆さんが参加されました。リピーターになる方も多い公開講座です。

### 講演会

神戸女子短期大学からは、食物栄養学科の今本 美幸准教授が講演を行い、V-netクラブ(注2)の学生11名が受付、会場案内、資料や試食品の配布を行いました。

今本准教授は、食事や生活習慣を改善することで腎臓病の進行を最小限に止めることができると具体的な事例を挙げて説明し、次の講師である小野 純夫氏は、通院での透析治療にはない在宅透析のメリットを語られました。

笠原 正登博士は、腎臓病の病態や最先端の治療方法を多くの写真やデータを使って専門的な見解を分かりやすく説明されました。そして、一人ひとりが健康管理を行うことは、社会全体に大きな利益をもたらす、立派な社会貢

献にもつながると述べられました。

腎臓病の治療には、強い精神力と根気が必要ですが、参加の皆さんは、元ボクシング世界チャンピオン井岡 弘樹氏の「己に勝つ」応援メッセージを受け取り、腎臓病へ立ち向かう勇気をもって会場を後にされました。



講演の様子



講演会のスタッフと学生ボランティア

日程:平成27年2月7日(土)

講演1「腎臓病を続けるために」

講師:神戸女子短期大学食物栄養学科 管理栄養士 今本 美幸准教授

講演2「在宅透析で透析ライフを楽しむ」

講師:患者協力 小野 純夫氏

講演3 応援メッセージ「己に勝つ」

講師:西日本ボクシング協会会長、初代WBC世界ミニマム級世界チャンピオン、元WBA世界ライトフライ級チャンピオン 井岡 弘樹氏

講演4「腎臓病に立ち向かう勇気」

座長:武庫川女子大学 薬学部教授 森山 賢治先生

講師:京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター EBM推進部特定准教授、先端医療センター腎臓・血液浄化領域チームディレクター 医学博士 笠原 正登先生

### 調理実習

管理栄養士内田 雅子氏と三浦 由美子氏による慢性腎臓病の食事療法のミニ講義と調理実習を行いました。この日もV-netクラブの学生8名が調理のアシスタントを務めました。

今回の献立はメインディッシュに魚を使ったフランス料理です。減塩や低たんぱく食が治療に有効であることから、ニンニク、きのこ、野菜類、魚介類の素材の旨みやコクを生かし、マスタードソースの酸味と辛みをきかすことで減塩でもおいしく食べられる調理のポイントを学んでいただきました。



調理実習の様子



調理実習のスタッフ

日 程:平成27年2月14日(土)

テーマ:気軽に簡単♪低たんぱくフレンチ  
～CKDに負けない食事作りのコツ～

ミニ講義 講師:神戸女子短期大学非常勤講師  
先端医療センター病院 管理栄養士  
内田 雅子氏

調理実習 講師:先端医療センター病院 管理栄養士  
三浦 由美子氏

会 場:神戸女子短期大学 ポートアイランドキャンパス

メニュー

- ◆魚介と野菜のカクテル
- ◆ポタージュスープ
- ◆ガーリックライス
- ◆白身魚のポワレ マスタードソース
- ◆プラマンジェベリーソース



(注1)ポーアイ4大学とは、神戸学院大学・神戸女子大学・兵庫医療大学・神戸女子短期大学をいう。

(注2)V-netとは、阪神・淡路大震災をきっかけに発足した栄養士・管理栄養士養成施設で構成されたネットワーク。神戸女子短期大学では学内のクラブとしても活動している。

## 学園からのお知らせ

### ○第69回国民体育大会 山岳競技入賞

平成26年度の第69回国民体育大会 長崎がんばらんば国体 山岳競技リード成年女子(注)で、健康スポーツ栄養学科1年生(当時)榎木 あかねさんが6位入賞しました。

榎木さんは小学校4年生のとき初めて山岳競技(クライミング)を体験し、高校生の時にはクライミングクラブに入り、本格的に練習を重ね技術を磨きました。

昨年出場した国体では念願の入賞を果たし、次回の国体でもさらに上位の成績を目指して練習に励んでいます。

「食」に強い関心があり同学科に入学した榎木さんは、大学で栄養の分野を専門的に学ぶ楽しさが分かりました。そして、食事の摂り方、食材の選び方に気を配り、クライミングの練習効果が上がるように大学で得た知識を活用しています。

(注)山岳競技には「リード」と「ボルダリング」の2種類があり、「リード」は高さ15m程度幅3m以上の人口壁を制限時間内で登る高さを競う。「ボルダリング」は高さ5m幅6mの比較的低い人口壁をいくつか登り、完登した数で競う。安全確保のため「リード」はロープ(命綱)をつけ、「ボルダリング」はマットを敷いて行う。



第69回国民体育大会山岳競技入賞の  
榎木あかねさん

### ○兵庫県功労者表彰について

平成27年兵庫県功労者表彰の受賞者が発表され、神戸女子短期大学幼児教育学科 水島賢太郎教授が、「教育功労」の部門で表彰されました。



(左から)行吉宜孝副理事長、水島賢太郎教授、  
行吉誠之理事長

### ○名誉教授称号授与式

6月18日(木)に神戸ポートピアホテル「菊水の間」において神戸女子大学と神戸女子短期大学の名誉教授の称号授与式が挙行されました。

式典では、大学 中島 實学長、短期大学 長瀬 荘一学長から、先生方へ「名誉教授称号記」ならびに「名誉教授証」が授与されました。記念写真撮影後は和やかに懇談が行われました。



名誉教授称号授与式において記念撮影

### 称号記を授与された先生方の教育・研究業績

#### 神戸女子大学

##### 上野 勝代先生

住居学、居住福祉の研究の第一人者。ドメスティック・バイオレンス被害女性のためのシェルターの改善に関する研究で、先進事例としてのデンマークにおけるシェルターの実態を調査・分析したことが注目される。平成22年4月から3年間、平成26年から1年間家政学研究所生活造形学専攻主任。

##### 大谷 節子先生

能・狂言研究、及び能面研究に優れた業績を上げ、第29回観世寿夫記念法政大学能楽賞、第30回角川源義賞を受賞。平成14年4月より2年間、神戸女子大学古典芸能研究センター長として同センターの立ち上げ、整備拡張に尽力。平成21年4月より4年間図書館長。日本語日本文学学科主任、文学研究科日本文学専攻主任を歴任。現在、古典芸能研究センター客員研究員。

##### 木下 由紀子先生

ロンドン大学にて博士(英文学)取得。ヴァージニア・ウルフ、K.マンスフィールド、E. M. フォスター、オスカー・ワイルドを中心とする近現代英文学の研究に従事。岡倉天心とウルフの芸術観についての研究に専念し成果を上げた。平成18年から平成27年3月まで文学研究科英文学専攻主任(19年10月から半年間を除く)。

##### 近藤 久史先生

特別支援教育、障がい者福祉の研究の第一人者。思春期・青年期の筋ジストロフィー症者の実存に関する研究、長期入院児の授業に関する臨床的研究、スウェーデンの道徳教材を活用した根源的価値形成の授業に関する臨床的・実証的研究などで成果を上げる。平成12年4月から4年間文学部社会福祉学科主任、平成21年4月から2年間文学部教育学科主任。

##### 森本 直明先生

日本植物生理学会、日本植物学会、日本菌学会に所属し、キノコ、豆科植物等の青色光と紫外線による光形態形成の研究に寄与。生物の理科教育に従事し成果を上げる。平成17年4月から2年間文学部教育学科主任。平成25年4月から2年間学校教育学専攻科長。

##### 八日市屋 多栄子先生

全国語学教育学会、ITC(インターナショナル・トレーニング・イン・コミュニケーション)、NAP(ナショナル・アソシエーション・オブ・パラメンタリアンズ、USA)所属。英検、TOEIC、TOEFLの受験指導に従事し成果を上げる。平成19年7月から神戸市立高倉中学校英語クラスサポート活動を開始、教職採用試験合格に尽力。平成19年9月から翌年1月まで文学部英語英米文学科主任代行。平成20年4月から2年間同学科主任。

#### 神戸女子短期大学

##### 羽多 悦子先生

日本美術教育学会、神戸芸術文化会議(彫刻・美術)、日本保育学会に所属し美術教育、保育士・教員養成に従事。二紀会(昭和42~62年)彫刻部同人として多数受賞。他コンクールで日本選抜優秀賞等受賞。現在、彫刻制作活動続行中。平成14年兵庫県功労者表彰「教育功労」。平成22年短期大学教育功労者表彰(文部科学大臣)。家政科長、学生部長、教務部長、初等教育学科長、保育専攻科長、幼児教育学科長を歴任。

# Information

## 行事日程

7月

4	土	学園内編入入学試験
7	火	すいか祭り
18	土	オープンキャンパス
20	月	海の日 <ポートアイランドキャンパス>祝日授業日
23	木	<短大>前期定期試験期間開始
29	水	<大学・短大>前期授業終了

8月

1	土	オープンキャンパス(2日まで)
8	土	<ポートアイランドキャンパス>前期定期試験・補講期間終了
12	水	<須磨キャンパス>補講期間終了
13	木	全学一斉休業(16日まで)
16	日	オープンキャンパス
25	火	<短大>前期定期試験結果発表
26	水	<短大>追再試験発表

9月

2	水	<短大>前期追再試験(7日まで)
3	木	<大学>前期科目最終成績発表
5	土	オープンキャンパス
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	<大学・短大>後期授業開始

10月

10	土	AO入試(二次)、<大学>一般編入入学試験
12	月	体育の日 祝日授業日

11月

1	日	公募制推薦入試AB、神女ファミリー入試、公募制自己推薦入試
3	火	文化の日 指定校特別推薦入試、社会人特別入試
6	金	学園祭準備(休講)
7	土	学園祭(8日まで)
11	水	創立記念日 休日授業日
21	土	<大学>オープンキャンパス(須磨キャンパス)
23	月	勤労感謝の日 祝日授業日

12月

6	日	公募制推薦入試後期
22	火	<大学・短大>年内授業最終日
23	水	天皇誕生日
25	金	<須磨キャンパス>補講期間終了
29	火	全学一斉休業(1月3日まで)

1月

1	金	元旦
5	火	<大学>後期授業開始
6	水	<短大>後期授業開始
11	月	成人の日
16	土	大学入試センター試験(17日まで)
17	日	阪神・淡路大震災 鎮魂の日
21	木	一般入試前期A
22	金	一般入試前期B
27	水	<短大>後期定期試験期間開始
29	金	後期授業終了(ポートアイランドキャンパスは2月5日終了)
30	土	<短大>ブルーム展(2月4日まで)



### プリンセス・オブ・ウェールズ Princess of Wales

神戸市立須磨離宮公園 園長 山村 治

英国皇太子妃の称号「プリンセス・オブ・ウェールズ」を冠するこのバラは故ダイアナ妃(1961-1997)に作家(ハークネス)が献呈した品種です。ご成婚時純白のドレスに身を包んだ彼女の登場に世界中が沸き、その後王室の伝統を破り2人の王子を自ら育てるなど新しい時代の皇太子妃像となりました。時が経ち、ウィリアム王子とキャサリン妃にロイヤルベビーが誕生したのは記憶に新しいところです。「プリンセス・オブ・ウェールズ」は売上の一部を彼女の支援活動(英国肺病基金)に寄付することで英国王室公認の品種となりました。「イングランドのバラ」と呼ばれ、国民に深く愛された故ダイアナ妃。「人々の心のプリンセスでありたい」という彼女の遺志(バトン)は王子たちに受け継がれ、その佇まいを連想させるこの白いバラは、彼女とともに人々の心に咲き続けることでしよう。離宮公園で咲くまばゆい姿にも、彼女からのバトンがきっと見つかるはずです。



本誌の発行には、毎回多くの皆様にご協力を賜り、深く感謝し御礼申し上げます。  
神女広報CROSSROADSの発行は、本誌で20号となります。これを機に、裏表紙に行事日程、バラのコラム、編集後記を移し、読者の皆様にお届けする情報を増やすことにいたしました。  
今回の特集は、ポートアイランドキャンパスです。このキャンパスの他に本学園には、二つのキャンパスがあります。本学園で最も多く学生が通う須磨キャンパスは、源氏物語、源平合戦などの文学や歴史の舞台でもあり史跡や名所のある神戸市須磨区の高台に位置しています。  
学園が創設された三宮キャンパスは、神戸の中心地で便利が良く、古典芸能研究センターが設置され市民の皆様にも親しまれています。  
多彩な環境のキャンパスで、日々行われている教育、研究の情報を今後もお伝えしてまいります。(M.O)

神女広報  
CROSSROADS

編集・発行 学校法人行吉学園 学園企画部 学園広報課  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-7-2  
TEL:078-303-4790 FAX:078-303-4857  
ホームページアドレス <http://www.yg.kobe-wu.ac.jp/>  
E-メールアドレス [gakuenkoho@yg.kobe-wu.ac.jp](mailto:gakuenkoho@yg.kobe-wu.ac.jp)

※「神女広報」へのご意見、お問い合わせなどお寄せください。